



令和元年10月7日

各位

会社名 株式会社メディネット  
代表者名 代表取締役社長 木村 佳司  
(コード番号 2370 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役経営管理部長 落合 雅三  
(電話:03-6631-1201)

## 台湾上場バイオ医薬品企業 Medigen Biotechnology Corp.へ 当社 $\gamma\delta$ T細胞培養加工技術のライセンス契約を締結

当社は、台北証券取引所上場企業である Medigen Biotechnology Corporation (基亜生物科技股份有限公司、所在地:台北市、以下、「MBC」)に対し、がんを対象疾患とする $\gamma\delta$ T(ガンマ・デルタT)細胞培養加工技術のライセンスアウトを合意し、ライセンス契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

現在、世界各地で再生・細胞医療の研究開発が盛んに行われており、それに伴い再生・細胞医療の提供に係る法整備も急速に進められています。台湾においても2018年に「特定医療技術検査検査医療機器施行或使用管理辦法修正條文(特管辦法)」(以下、「特管辦法」)が施行され、再生・細胞医療の提供が開始されつつあり、再生・細胞医療に係る医療機関、企業が活動を加速しています。

MBCは自社が台北証券取引所に上場していることに加え、子会社に Medigen Vaccine & Biologics (台北証券取引所上場)、TBG Diagnostics Inc. (オーストラリア証券取引所上場)および Winston Medical Supply Co.を有するグローバルなバイオ医薬品企業です。同社は、台湾においてより多くのがん患者様への貢献を目的として、NK細胞加工技術をはじめ、がん免疫細胞治療に関する細胞加工技術の開発に注力しています。また、新たな再生・細胞医療技術を用いたがん免疫細胞治療の開発を模索、検討しており、今般、当社が保有する $\gamma\delta$ T(ガンマ・デルタT)細胞培養加工技術の導入を決定しました。今後、台湾において、当社の $\gamma\delta$ T(ガンマ・デルタT)細胞培養加工技術を用いたがん免疫細胞治療が特管辦法の下、MBCから医療機関を通じて患者様に提供されることとなります。

本契約の締結に伴い、当社はMBCから $\gamma\delta$ T(ガンマ・デルタT)細胞培養加工技術を用いた培養加工件数に応じたロイヤリティを収受することとなります。また、本事業を通し台湾で $\gamma\delta$ T(ガンマ・デルタT)細胞の新たな治療実績等が得られた際には、これまで当社が東京大学を中心に進めてまいりました $\gamma\delta$ T(ガンマ・デルタT)細胞の研究ネットワークの中で協議を行い、再生医療等製品事業への展開の可能性についても検討する予定です。業績に与える影響につきましては軽微であります。

### < $\gamma\delta$ T(ガンマ・デルタT)細胞について>

$\gamma\delta$ T細胞は、近年、世界で注目されている免疫細胞の一種で、体内の様々な免疫機構に関与していると報告されています。 $\gamma\delta$ T細胞の中でも、特に V $\gamma$ 9V $\delta$ 2 という遺伝子の組み合わせの TCR(T細胞受容体)をもつ $\gamma\delta$ T細胞は、がん細胞に対して強い攻撃能力を有していることが知られております。当社の開発した $\gamma\delta$ T細胞培養加工技術は末梢血中にわずか数%しか含まれていない V $\gamma$ 9V $\delta$ 2T細胞を選択的に活性化し、数千から数万倍に増殖させることができる技術で、日本での臨床応用のみならず欧州を中心とした海外での研究開発も進められております。

### <MBCについて>

MBCは、1999年に創業し、2011年に台北証券取引所に上場したグローバルバイオ医薬品企業。独自で開発したNK細胞加工技術「Magicell-NK」を保有しており、同技術の開発にも注力しています。

(1)名称	Medigen Biotechnology Corporation (基亜生物科技股份有限公司)
(2)所在地	14F, No.3, Park St., Nangang Dist., Taipei City 11503, Taiwan
(3)代表者	Stanley Chang
(4)資本金	約50億円

以上